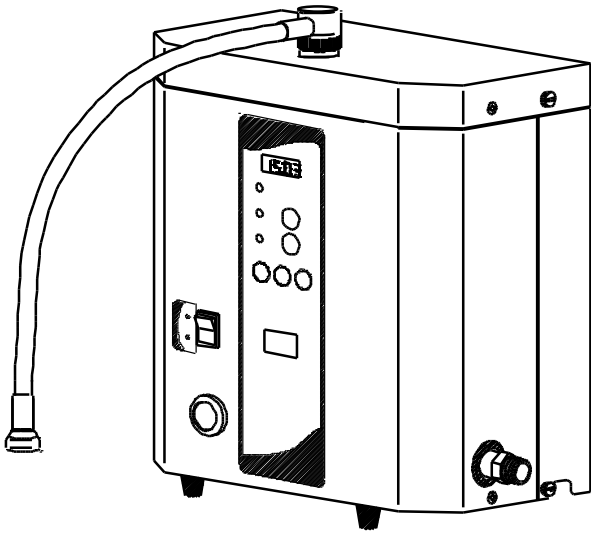


LくりんJ r AUTO II



取扱説明書

《取扱編・設置編》



運転中
換 気

お買い上げまことにありがとうございます。
使用時には、この取扱説明書をよく読んで
機器を正しく使用してください。保証書
(別紙)は、必ずお買い上げ日販売店名
などの記入を確かめてお受け取りください。
なおこの取扱説明書はいつでもご覧に
なれるところに大切に保存してください。

はじめに

この取扱説明書は、オゾン水生成器TT-05SHVⅡ取扱説明書です。取扱編には取扱方法が設置編には設置方法が説明してあります。設置完了後は、取扱編をよく読んで理解してから使用してください。取扱中に少しでも不確かなことが生じたから、本書により確かめて正しい方法でお使いください。

機器の用途

機器は上水（水道水など）を使用接続し、オゾンを溶存した水を生成する機器です。これ以外の液体（井戸水など）には接続使用できません。腐食や目詰まりをおこして故障の原因となります。機器は日本国外での使用はしないでください。日本国内においてのみご使用ください。

メモ

オゾンとは・・・

オゾンは、自然界の濃度は0.1～0.03ppmと少量ではあるが常に我々のそばにあり、特異な物質ではありません。

オゾンは、大気中の雷放電や紫外線による光化学反応で自然発生、生成され、大部分は、上空20～50kmの成層圏中にオゾン層として存在します。

オゾンは3個の酸素原子からなる気体分子（ O_3 ）ですが容易に第3原子を分離して発生期の酸素を出します。この発生期の酸素によりオゾンは強い酸化力を示します。この強い酸化力をこの機器は最良のオゾン濃度で生成させ、利用しています。

も く じ

はじめに

取扱編

- 特に注意していただきたいこと
安全のために必ずお守りください・・・・・・・・・・ 3~7
- 各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・ 8~9

準備

- ご使用前に・・・・・・・・・・ 10~15
 - ・ご使用前の準備・・・・・・・・・・ 10
 - ・空気乾燥剤の再生（除湿）のしかた・・・・・・・・・・ 11~13
 - ・近接センサについて・・・・・・・・・・ 14~15

使う

- 使いかた・・・・・・・・・・ 15~16
 - ・オゾン水を使う・・・・・・・・・・ 15
 - ・空気乾燥剤を再生する・・・・・・・・・・ 16

こんなときには

- 消耗品を交換する・・・・・・・・・・ 17~18
 - ・交換時期について・・・・・・・・・・ 17
 - ・次のような場合は交換してください・・・・・・・・・・ 17
 - ・消耗部品の使用限界（交換目安）・・・・・・・・・・ 17
 - ・交換のしかた・・・・・・・・・・ 18
- お手入れ・・・・・・・・・・ 19
- 別売品・・・・・・・・・・ 19
- 停電・断水したときには・・・・・・・・・・ 19
- 故障かな？と思ったときは・・・・・・・・・・ 20
- 保証とアフターサービス・・・・・・・・・・ 25

設置編

- 本体を設置する・・・・・・・・・・ 22~24

付 属 品



ご使用いただく前に、次の付属品をお確かめください。

- 保証書 ●取扱説明書 ●給水ホース ●吐水管
- 接着盤（2個） ●吸盤（1個） ●ホース固定バンド（3個）
- フィルター ●Oリング

編 投 取

■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

ご使用の前にこの『特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。』をよくお読みの上正しくお使いください。

ここに示した事項は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を『 警告』、『 注意』の2つに区分して示しています。

安全の確保のために大切な事項ですので必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。




注意


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定させる内容を示しています。

絵表示の例




 記号は注意（警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意書が描かれています。



 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。



 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

警告

運転中、臭気が強く感じられた時は必ず換気してください。



運転中
換気



多量にオゾンを引き込むと健康に影響がでます。

本体側に35℃以上の温水を通さないでください。



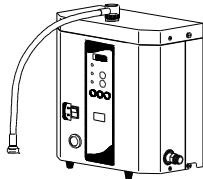
禁止

オゾン水が生成されなくなります。また水もれや故障の原因になることがあります。

水道水などの飲料水に合格した水以外は使用しないでください。



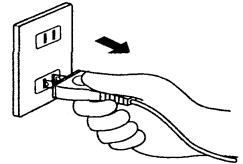
禁止



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。

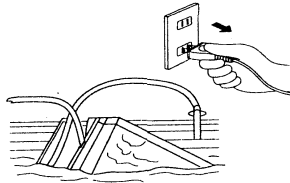


電源プラグ
を抜く



感電の原因になります。

本体を誤って水中に落としたときは、電源プラグをコンセントから抜き、引き上げてください。



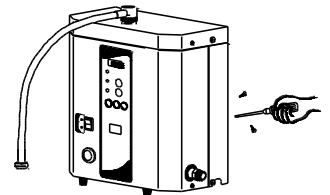
感電の原因になります。

●修理は販売店にご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。



分解禁止



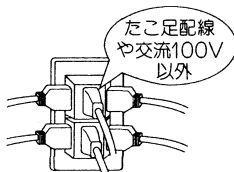
火災・感電の原因となります。

●修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしないでください。

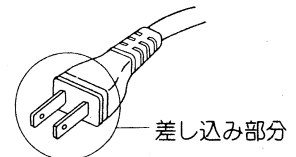


禁止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。



プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

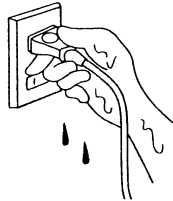
特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

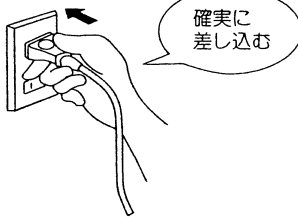


禁止



感電の原因になります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



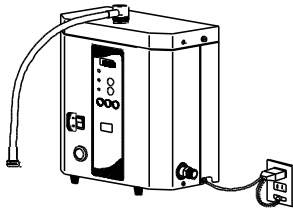
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災原因になります。

●痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

接地（アース）工事は必ずおこなってください。



アース



接地（アース）工事を怠りますと、雷に対しての保護機構を備えておりますが、効果が得られなかったり、故障や漏電時に感電することがあります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。




禁止

- ・傷つける・加工する
- ・熱器具に近づける
- ・無理に曲げる
- ・ねじる・引っ張る
- ・重い物を載せる・束ねる
- ・はさみ込むなど

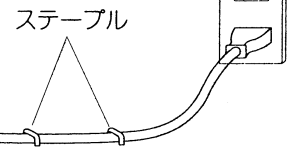
痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理は販売店にご相談ください。

電源コードをステーブル（)などで固定しないでください。



禁止



電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

次のような水は用いないでください。



禁止

- ・運転スイッチ「入」直後や、オゾン生成ランプ点灯のオゾン水
- ・オゾン生成ランプが消灯しているときのオゾン水
- ・再生終了直後のオゾン水
- ・排水ホースから出る水

機器本来の機能が発揮しません。

万一、使用中、強い刺激臭を感じましたら、電源プラグを抜き、販売店へご連絡ください。



体調を損なうことがあります。

注 意

機器の本体機能を発揮するため使い始めは本体内部のたまり水を流してください。



使い始めは

約 0.8L (約5秒間)
通水後に使用する。

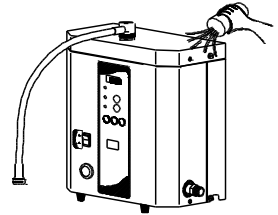
2日以上使用していないときは

約 2.5L (約15秒間)
通水後に使用する。

本体に水をかけたり、洗ったりしないでください。



禁 止



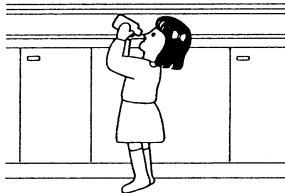
漏電・感電の原因になることがあります。

●お手入れは18ページを参照してください。

オゾン水は、独特の味がしますので、常時の飲用には適しておりません。

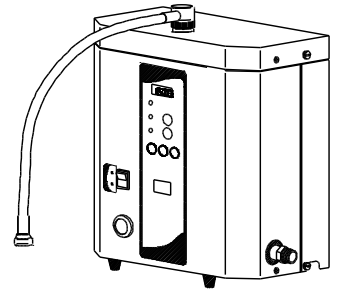


禁 止



体調を損なうことがあります。

冬季や気温の低い日は凍結しないよう、毎分1L程度の水を機器へ流してください。

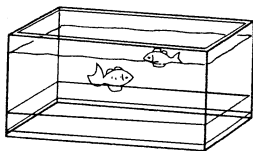


凍結すると故障の原因になります。

オゾン水を魚などの飼育水に使用しないでください。



禁 止



従来の環境が変わり、魚などに悪影響を及ぼす場合があります。

本機は元止め方式の機器であり、機器の出口以降で水量を調節する先止め等は決して行なわないでください。故障の原因となります。

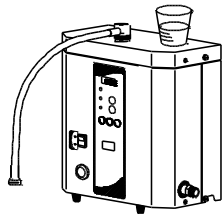


禁 止

特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

注 意

本体の上に物を置かないでください。



落下して、怪我の原因になることがあります。

カートリッジは定期交換してください。



交換を怠りますと、オゾンが生成されなかったり、本体からオゾン臭がしたりします。

本体を壁にかけて使用する場合は、必ず販売店または工事に依頼してください。

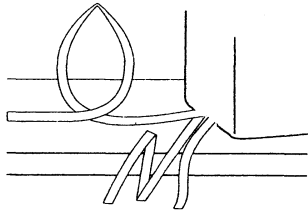


ご自分で設置すると、落下して事故の原因になることがあります。

水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしないでください。

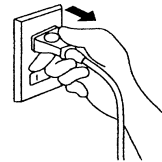


禁 止



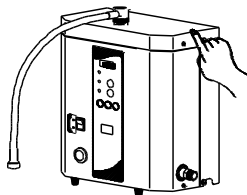
水漏れやオゾン水が出なくなる原因や故障の原因になります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。



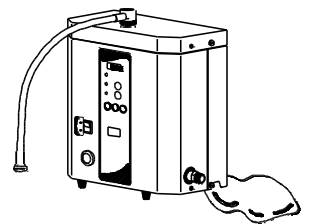
コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

空気乾燥剤再生中、および再生終了後1時間はケースおよび空気乾燥剤充填筒は、高温になっています。ふれたり、手をかけたりしないでください。



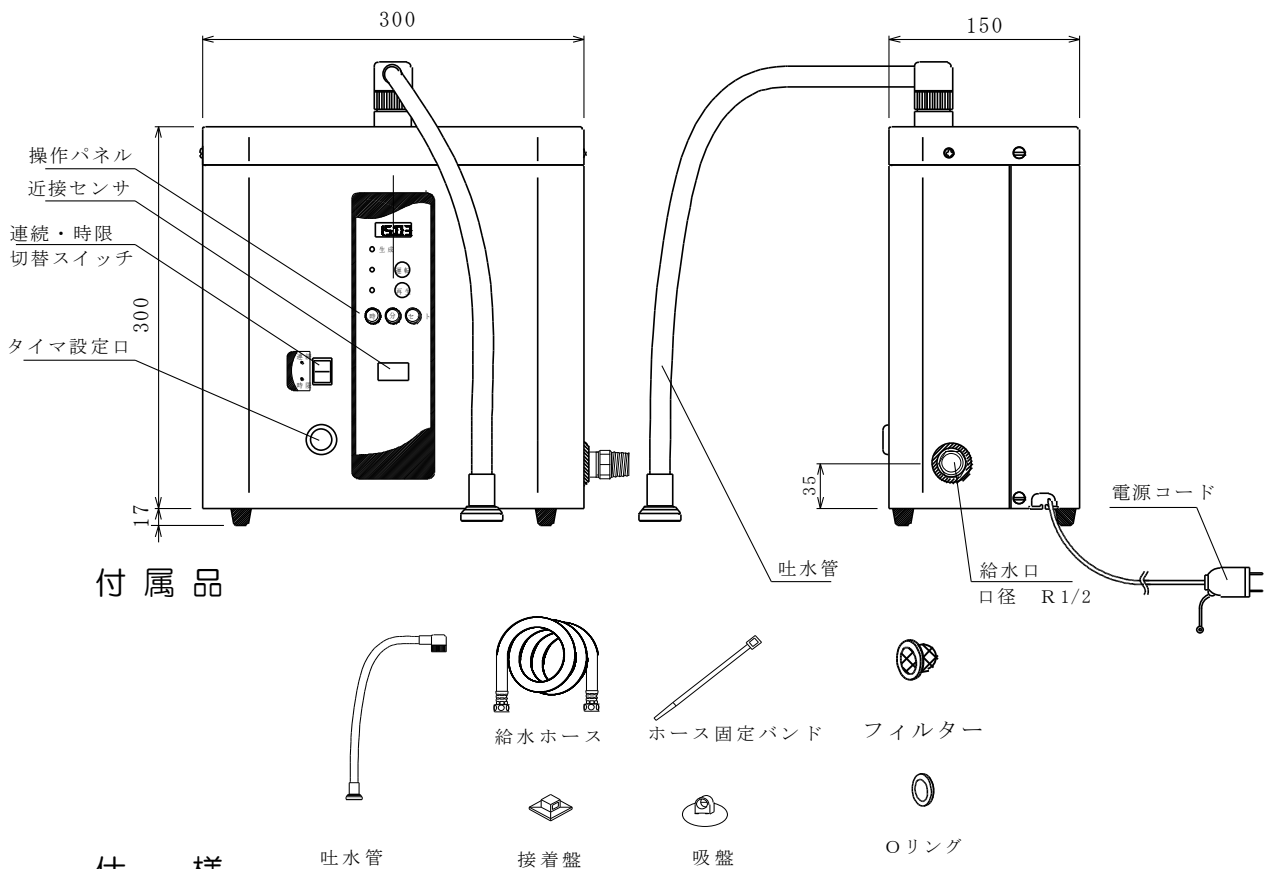
やけどの恐れがあります。

本体下方から水が出てても良い場所に設置してください。



結露水の滴下、安全弁の作動などで水が出ることがあります。

■各部のなまえとはたらき



付属品

仕様

品目	オゾン水生成器	
型式の呼び	TT-05SHV II	
定格電圧	AC100v 50Hz/60Hz	
定格消費電力	オゾン生成時	32.8W/39.0W
	空気乾燥剤再生時	43.5W/43.7W
	待機時	4W
使用給水圧力範囲	100~350kPa	
オゾン水吐水量	5L/min	
オゾン水濃度	0.6mg/L	
吐水時間タイマ設定範囲	標準設定約20秒(10~60秒)	
近接センサ検出距離	約10mm~約50mm	
空気乾燥剤使用限界	約6ヶ月	
分解剤使用限界	約12ヶ月	
本体重量	約8.5kg	
電源保護装置	ヒューズ5A	

※ 各数値は当社測定条件(気温・湿度・水温)時のものです。
使用環境によって異なることがあります。

各部のなまえとはたらき

操作パネル

時刻表示
 現在時刻（24時間計）を表示します。

オノン生成ランプ
 生成ランプが点灯している時はオノン水濃度が安定しています。点滅している時はオノン水は生成されていますが仕様値より前後します。また通水がないときや空気乾燥剤の再生中の再生ランプ点灯中は消灯し、オノンが生成されていないことを知らせます。

運転ランプ
 運転スイッチ「入」のときに点灯します。

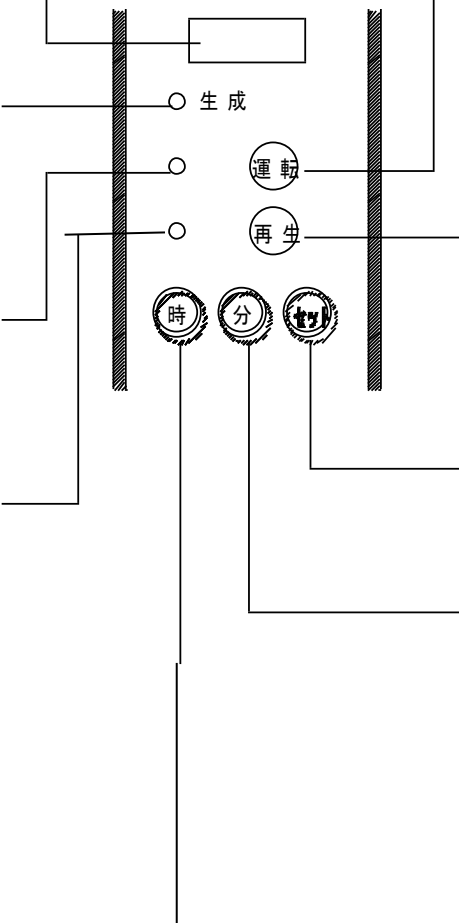
再生ランプ
 空気乾燥剤の再生時点灯します。自動再生開始時刻の10分前になると点滅してお知らせします。点灯時はオノンは生成されません。

運転スイッチ
 「入」にすると水スイッチでのオノン水の生成および空気乾燥剤の再生をおこないます。「切」にすると停止します。

再生スイッチ
 運転スイッチを「入」にし約3秒間おすとことにより空気乾燥剤の再生「入」「切」がおこなえます。

セットスイッチ
 1回押すと現在時刻合わせができます。2回連続で押すと自動再生開始時刻合わせができます。その後1回押すと自動再生曜日間の間隔を変えることができます。

分スイッチ
 現在時刻及び自動再生開始時刻の「分」、自動再生曜日間の間隔を設定します。2秒以上押し続けると5分単位で早送りします。



時スイッチ
 現在時刻及び自動再生開始時刻の「時」を設定します。2秒以上押し続けると1時間単位で早送りします。

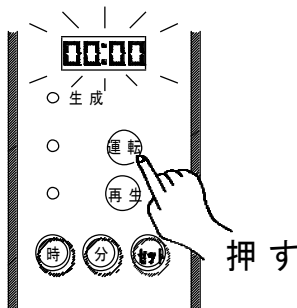
■ご使用の前に

■ご使用前の準備

1、本体の設置

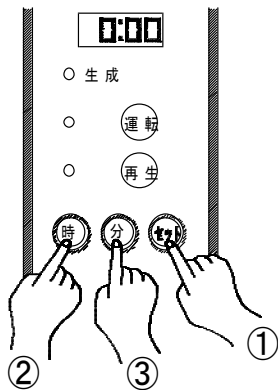
本体を設置し、給水口、オゾン水配管に配管を接続してください。
ドレンホースを排水できるところに配管してください。次に給水口より通水を行い吐水口から水が出てくることを確認してください。
最後にアース端子を接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2、時刻を合わせる



電源プラグをコンセントに差し込むと、時刻表示が点滅します。運転スイッチが自動的に「入」の状態になりますので、運転スイッチを「切」の状態にして現在時刻(24時間表示)を合わせてください。

●現在時刻の合わせ方



- ①セットスイッチを1回押します。
- ②時スイッチを押して現在時刻(24時間表示)に合わせます。セットスイッチを2秒以上押し続けると、押している間は時間表示が早送りできます。
- ③分スイッチを押して現在分に合わせます。スイッチを2秒以上押し続けると、押している間は分表示が5分単位で早送りできます。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後は再生時刻合わせが必要になります。

3、運転スイッチを「入」にする。

運転ランプが点灯します。

ご使用前に

■空気乾燥剤の再生（除湿）のしかた

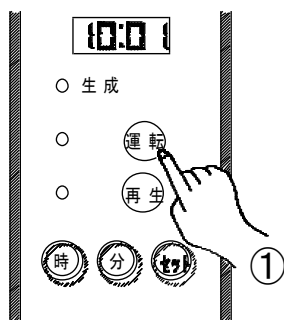
1日3時間程度のご使用で、空気乾燥剤を1日に1度再生(約3時間)する必要があります。再生方法は、自動再生と手動再生があります。

方法 1 自動再生・・・運転スイッチを「入」にしておくと、設定時間になると自動的に3時間再生運転します。

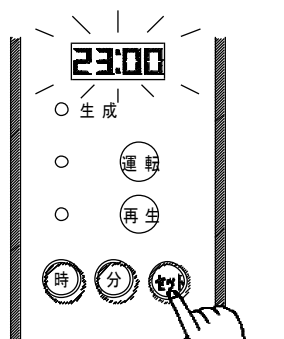
再生運転日の間隔や時間は自由に変えることができます。初期設定から変更する場合は次の方法で設定してください。

※ 初期設定では再生開始時刻23：00 再生運転間隔01〔毎日〕に設定されています。

●自動再生時間の設定のしかた



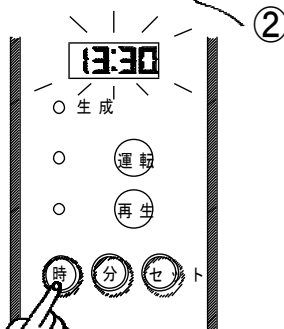
①運転スイッチを「切」にし、運転ランプ（赤色）が消えているか確認してください。



②セットスイッチを2回続けて押します。
自動再生開始時刻が点滅します。

お知らせ

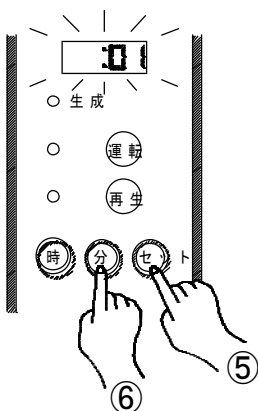
●初期設定は23：00（午後11：00）の設定になっております。



③時スイッチを押して開始時を更新します。
（例）午後1：30であれば「13」にします。



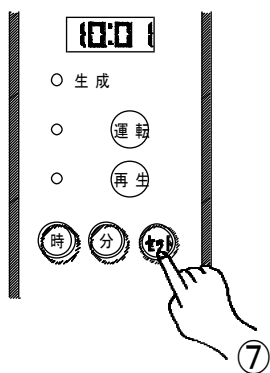
④分スイッチを押して開始分を更新します。
（例）午後1：30であれば「3」



⑤セットスイッチをもう1度押します。
再生運転日の間隔が点滅します。

⑥1日の使用時間によって分スイッチを押して設定してください。

1日の使用時間	点滅表示	再生運転日の間隔
3時間以上	01	1日毎(毎日)
1時間以上	02	2日毎
1時間未満	03	3日毎



お知らせ

- 気温や湿度が高い場合、再生運転日の間隔を上記の表より短く設定してください。
- 初期設定は1日毎(毎日)の設定になっております。

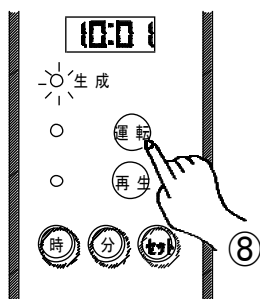
⑦セットスイッチを1度押すと、現在時刻表示にもどります。

⑧運転スイッチを1度押します。
設定した時刻に再生します。

お知らせ

運転スイッチを「切」にした状態では再生しません。
自動再生をご使用にならない時は運転スイッチを「切」にしたままにしてください。

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後は初期設定の1日毎(毎日)の23:00になります。
再度設定してください。

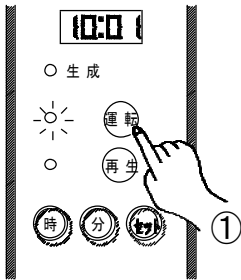


※再生中はオゾン水はご使用できません。途中で終了したい場合は、運転スイッチを「切」にしてください。

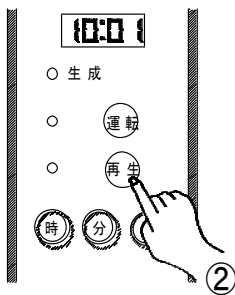
方法 2

手動再生・・・再生スイッチを押すと、再生が始まり、3時間で自動的に終了します。

●手動再生のしかた



①運転スイッチを「入」にします。



②再生スイッチを3秒間押し続けると再生ランプが点灯します。

3時間、再生運転をした後、自動的に終了します。

お知らせ

- 再生中は、オゾン水は生成されません。
途中で終了したい場合は、再生スイッチを押すと、再生ランプは終了し、再生は終了します。
- 手動再生を行なった場合、前回の自動再生日の記憶が消去されるため、次回の自動再生日までの間隔は手動再生終了後から数えられます。

〔但し、途中で手動再生を停止した場合は消去されず、前回の自動再生より数えられます。〕

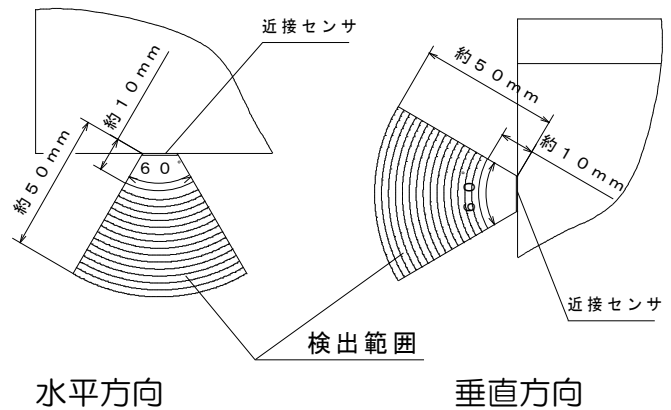
■近接センサについて

- 本機は、近接センサの検出により、自動的にオゾン水を吐水し、タイマの設定時間経過後（出荷時設定時間約 20 秒）、自動的に吐水が終了します。

近接センサは、オゾン生成運転スイッチのON・OFFにかかわらず、

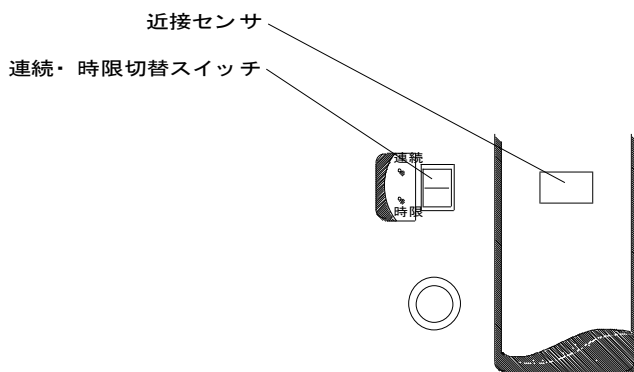
⚠️注意 本機に通電した状態で検出を始めます。電源プラグをコンセントに差し込んだ直後より近接センサが検出を始め、吐水します。

- 近接センサの検出距離は、約 10mm～50mm です、範囲外では反応しません。



■連続・時限切替スイッチについて

長時間オゾン水を使用する場合は、「連続・時限切替スイッチ」を連続に切り替えてください。近接センサを使用しタイマにて吐水する場合は、「連続・時限切替スイッチ」を時限に切り替えてください。タイマの設定時間中、吐水します。



警告

- 次のような水は、用いないでください。



禁止

- 運転スイッチ「入」直後のオゾン生成ランプ点灯直後のオゾン水。
- オゾン生成ランプが点滅又は消灯している時のオゾン水。
- 再生終了直後のオゾン水。
- 排水ホースから出る水。

機器本来の機能が発揮できていません。

ご使用の前に

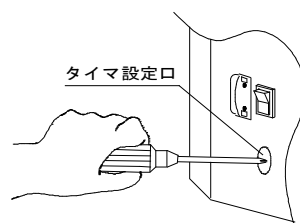
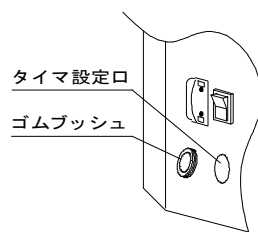
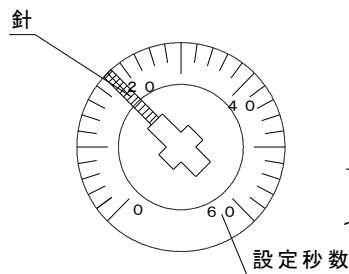
■オゾン水吐水時間の変更

本機は、タイマの設定を変更することにより、オゾン水吐水時間を変更できます。

標準設定 約 20 秒（変更可能範囲 10 秒～60 秒）

●変更方法

1. 本体上部の、タイマ設定口のゴムブッシュをはずしてください。
2. プラスドライバーにてご希望の時間にタイマの赤い針を合わせてください。
3. 元の通りゴムブッシュをはめてください。



■使いかた

運転スイッチを押してください、運転ランプが点灯します。

■連続・時限切替スイッチが「時限」の場合。

1. 近接センサの検出範囲に手をかざしてください。

吐水を開始します、吐水してから約2秒後オゾン生成ランプが点灯し吐水にオゾン臭がし、オゾンが溶存したオゾン水が吐水されます。

約5秒間（約0.8L）は残水が吐水されます。捨て水をしてください。

お願い

- 水の量が少ないとオゾン水が生成されない場合がありますので、元栓は全開でご使用してください。

2. タイマの設定時間が終了すると自動的に吐水が止まります。

■連続・時限切替スイッチを「連続」にすると、吐水を開始します。

吐水してから約2秒後オゾン生成ランプが点灯し吐水にオゾン臭がし、オゾンが溶存したオゾン水が吐水されます。

約5秒間（約0.8L）は残水が吐水されます。捨て水をしてください。

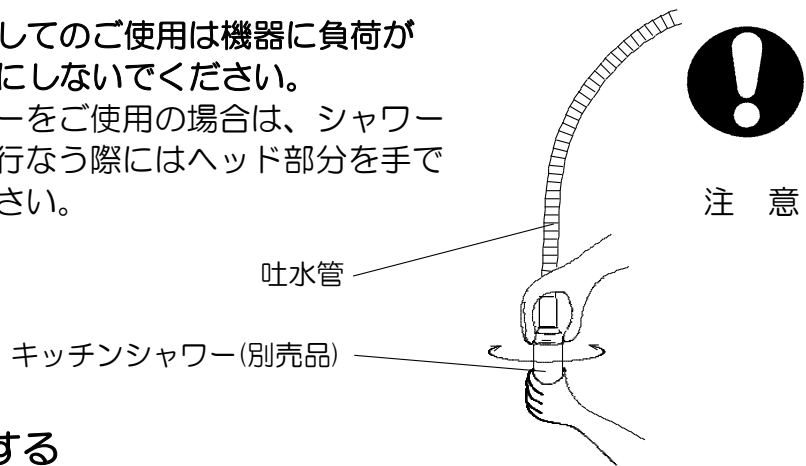
連続・時限切替スイッチを「時限」にすると、吐水を停止します。

お願い

- 本機には60℃以上の熱湯は通さないでください。
（故障の原因となります。）

注意

吐水口にホースを接続してのご使用は機器に負荷が掛かりますので、絶対にしないでください。
別売のキッチンシャワーをご使用の場合は、シャワーとストレートの切替を行なう際にはヘッド部分を手で固定して行なってください。



■空気乾燥剤を再生する

安定したオゾン生成を行うため、定期的に空気乾燥剤を再生（除湿）させる必要があります。再生時間中はオゾン水はご使用できません。11～13ページを参照に機器を使用しない日時に再生運転日の間隔と自動再生開始時刻を設定し、運転スイッチは「入」のままにしておいてください。自動的に設定時刻に再生します。

お願い

- 電源コードをコンセントから抜いていた後にご使用されるとき、オゾン水からオゾン臭がしないときは、再生スイッチを「入」にし、空気乾燥剤を強制的に再生してください。再生運転（3時間）し自動的に「切」になります。

お知らせ

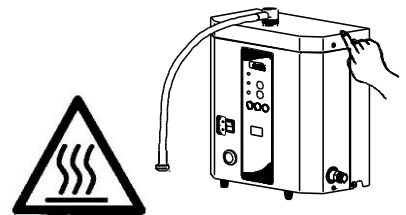
- 再生時間中はオゾン水はご使用できませんので、誤っての再生スイッチ「入」「切」防止のため、再生スイッチは、約3秒間押さないと「入」「切」できません。
- 再生運転終了後は、空気乾燥剤が高温になっているため、オゾンを生成する能力が著しく低下しています。再生終了後は30分以上は時間を開けてからご使用ください。

注意

機器のご使用後は給水栓（元バルブ）を閉めてください。

注意

- 空気乾燥剤再生中、および再生運転終了後1時間はケースおよび空気乾燥剤充填筒は高温になっています。触れたり、手をかけたりしないでください。



やけどの恐れがあります。

■消耗品を交換する

■交換時期について

分解剤カートリッジ・空気乾燥剤は消耗品です。定期的に交換する必要があります。ご確認の上、お買い上げの販売店で購入取替えを依頼してください。(有料)

■次のような場合は交換してください

オゾン水からオゾン臭がしない。
(空気乾燥剤能力が低下)

お願い

- 使用限界以内であれば再生スイッチを「入」にし、空気乾燥剤を再生して修復すれば交換する必要がありません。(使用条件による)

運転中装置周辺や部屋にオゾン臭が強くなる。
(分解剤カートリッジ能力低下)

■カートリッジの使用限界（交換目安）

空気乾燥剤・・・・・・・・・・約半年

分解剤カートリッジ・・・・・・・・約1年

※周囲温度20℃、湿度50%、水温20℃、使用水量でご使用のときです。

交換時期は、使用水量、水質、設置周囲環境によって前後します。

■処理について

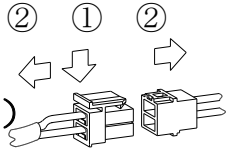
使用済みの空気乾燥剤・分解剤カートリッジは不燃ごみとして処理されるか、お買い上げの販売店にお渡しください。

※不燃ごみとして処理される場合は各自治体によって異なりますので注意してください。

■交換のしかた

- 電源プラグはコンセントから抜いてください。
- 使用済の空気乾燥剤を入れる入れ物（ビニル袋等）を用意してください。

1. 空気乾燥剤の交換

- ① 正面から見て右側の点検板を外す。（手ネジ 4 個）
- ② 空気乾燥剤充填筒を固定バンドから手前にずらして、引き出す。
- ③ 接続されているコード（コネクタ）を外す。
（コネクタを取外す場合、①つめを押しながら
コネクタを②左右に引き、取外してください。右図）
- ④ 蓋を固定しているビスを外し、蓋を外して空気乾燥剤を入替える。
- ⑤ 蓋をしてコードを接続する。
- ⑥ 空気乾燥剤充填筒を元の位置にもどす。
- ⑦ ホースを接続する。
- ⑧ 点検板を元通りに取付ける。

2. 分解剤カートリッジの交換

- ① 正面から見て左側の点検板を外す。（手ネジ 4 個）
- ② 分解剤カートリッジを固定バンドから手前にずらして、引き出す。
- ③ 上部に接続されているホースを外す。
- ④ 新しいカートリッジを確実に取り付け、ホースを接続する。
- ⑤ 点検板を元通りに取付ける。

お願い

- ホース・コード類はしっかりと確実に接続してください。
- 交換後、通水して水漏れや強い刺激臭の発生などないか確認してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、現在時刻や再生運転の間隔と自動再生開始時刻を確認してください。

■お手入れ

■本 体

柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、固く絞ってからふいてください。

■近接センサ部の窓の清掃

近接センサ部の窓が汚れると検出能力が低下します。定期的に清掃してください。

- 洗剤・クレンザー・ベンジン・アルコール・灯油などは使わないでください。
- 金属性のブラシなどは使わないでください。

■吐水管

吐水管と本体接続部の確認をおこない、緩んでいるようであれば増し締めをしてください。

お願い

- 稼動部のため使用中に緩みが生じる場合があります。水漏れを起こして機器の故障に繋がる恐れがありますので定期的に確認して頂くようお願いいたします。

■別 売 品

消耗品・別売部品などは、お買上げの販売店で購入してください。（有料）

■停電・断水したときは

■停 電 時

- 使用できません。
- 使用中に停電したときは、水栓を閉めてください。
- 通電後は、そのまま使用できますが、時計・自動再生の設定が初期設定の状態にもどっていますので再度設定してください。

お知らせ

本機は停電時の設定バックアップのため、バッテリーが内蔵されています。バックアップ機能に狂いが生じてきましたら、バッテリーが消耗してきていますのでお買上げの販売店に連絡し、交換してください。

■断 水 時

- 使用できません。
- 使用中に断水したときは、水栓を閉めてください。

■故障かな?と思ったときは

万一故障かなと思われることがありましたら、修理依頼される前に次のことを調べてください。なお、異常のときは、ご自分で分解修理は絶対しないでお買い上げの販売店に連絡してください。

■こんなランプ表示のときは

症 状		原 因 と 処 置
オゾン生成ランプ	点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●再生ランプが点灯していませんか? ⇒再生が終わるまで待つ。 ●水量が不足していませんか? ⇒水栓を開け、水量を多くする。
	点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●水量によって点灯または点滅します。 ⇒故障ではありません。
再生ランプ点滅		<ul style="list-style-type: none"> ●点滅開始10分後に自動再生が開始します。 ⇒故障ではありません。
何も表示しない		<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか? ⇒電源プラグを差し込む。 ●機器の故障です。 ⇒電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
運転ランプ点滅		<ul style="list-style-type: none"> ●漏電のおそれがあります。 ⇒電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

■故障かな

症 状		原 因 と 処 置
そ の 他	本体の下から水が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ●温湿条件によっては、本体内部に結露が発生することがあります。 ⇒故障ではありません。 水がこぼれてもよい場所でお使いください。
	運転中本体から高音がし、ラジオなどに雑音が入ることがある。	<ul style="list-style-type: none"> ●オゾン生成のための電荷音です。 ⇒故障ではありません。 ラジオなどの電源は、同一コンセントにせず2~3mはなしてください。
	凍結した。	<ul style="list-style-type: none"> ●毎分1L程度の水を出していませんか? ⇒室温を上げて完全に融けるまでお待ちください。 その後、本体内部より水が出る場合は機器の故障です。電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
	強いオゾン臭がする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ドレンホースが折れていませんか? ⇒ホースが折れないようにしてください。 ●カートリッジを定期的に交換していますか? ⇒分解剤カートリッジを新品交換してください。

設置編

■本体を設置する

設置上のお願い

■次のような場所には設置しないでください。

- 火を使用しているところ、その他の高温部（40℃以上）の近く
- 直射日光の当たるところ
- 油が付着するところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 浴室や風雨にさらされる場所
- 凍結の可能性があるところ
- 機器が水平にならないような不安定な場所

■使用給水圧力範囲（0.1～0.35MPa）を超えた給水圧力で使用しないでください。機器が正常に作動しない、また機器が故障する場合があります。



注意

■本機は空気乾燥剤再生運転中、及び再生運転終了後1時間はケースが高温になります。機器及び機器周辺に物を置かないようにしてください。また、機器周辺に10cm程度のスペースを確保してください。



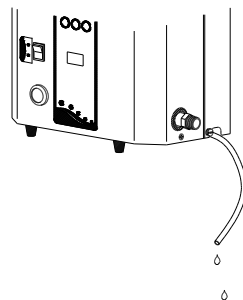
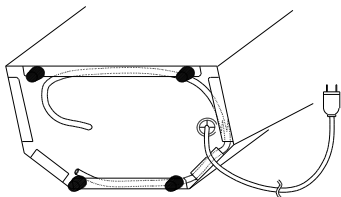
高温注意

空気乾燥剤再生運転中、及び再生運転終了後1時間はふれたり、手をかけたりしないでください。

■お湯専用の水栓には取り付けしないでください。

■本機専用の給水栓（配管径G1/2）を設定してください。

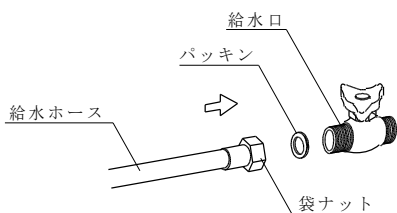
■ドレン及び結露水を排水できる場所に設置してください。



ドレンホースは下部に収納してあります。

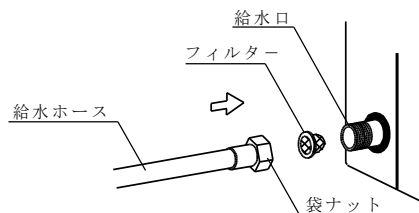
■据付方法

1 給水ホースを取り付ける



給水ホースの袋ナットは確実に締付けてください。

2 給水ホースを本体に取り付ける。

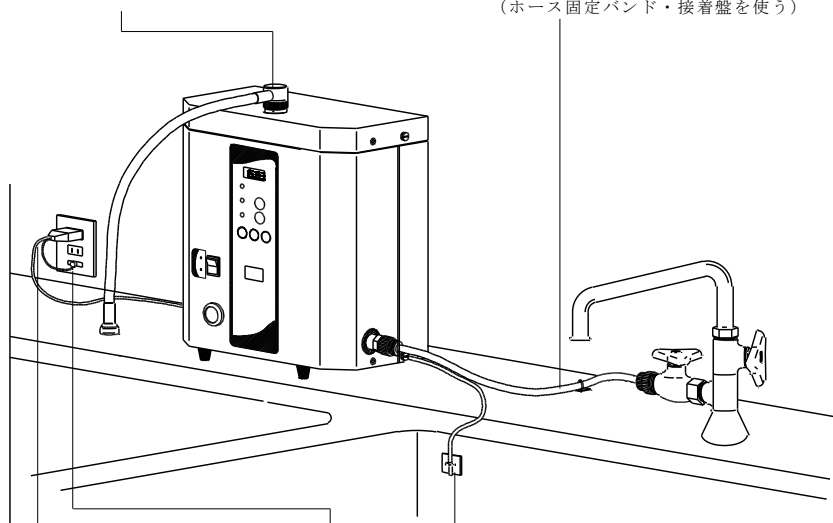


パッキンの代わりにフィルター（方向は機器側が凸）を入れ給水ホースの袋ナットは確実に締付けてください。

4 吐水管を取り付ける

3 給水ホースを固定する

（ホース固定バンド・接着盤を使う）



5 ドレンホースを固定する

（吸盤で固定する）

6 アース（接地）をとる

※アース（接地）工事を怠ると
故障や漏電の時に感電する
恐れがあります。

7 電源プラグを差し込む

（交流100V 50-60Hz）

●時刻表示部が点滅します。

12ページを参照し
時刻合わせをしてください。

●待機時は約4Wの電力を消費しています。

※通常は電源プラグを抜かないで下さい。

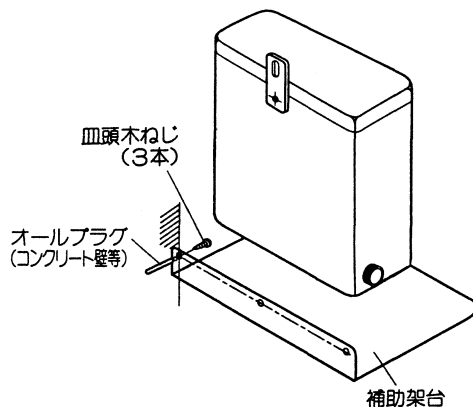
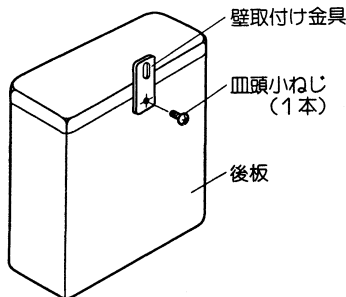
■本体を据置する場所が無い場合・狭い場合には、別売の壁取付け部材を使用し、次に従って壁面にお取付けください。

お願い

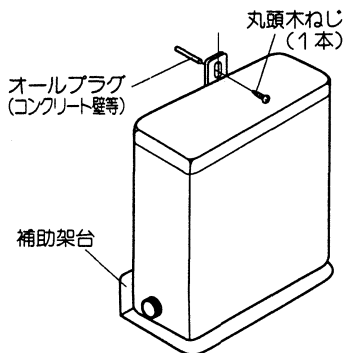
- 本体を据置き出来てお使いにならない場合は、ご転居時や設置場所を変更される時に備えて保存しておいて下さい。

壁取付け方

1. 壁取付け金具を後板上方のねじ穴に合わせ、付属のねじ(1本)で取付ける。
2. 壁面取付け時外形を参考にし、付属の木ねじ(3本)で補助架台を壁面に取付ける。

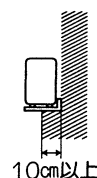


3. 補助架台に本体を乗せ、壁面に壁取付け金具を木ねじ(1本)で固定する。



お知らせ

- 取付け壁がコンクリート、タイル等の場合、壁面取付け外形を参考に取付け壁面ねじ位置固定用の穴(直径5mm、深さ25mm)をあけ、付属のオールプラグを打ち込み、木ねじで固定して下さい。
- 壁面は、本体質量が約8kg有ります。不安定な壁面には取付けないで下さい。落下等ケガの恐れがあります。
- 右図の様に、補助架台下面に10cm以上の支えが有る場合以外は、必ず壁取付け金具で壁面に固定して下さい。尚、10cm以上の支えが有る場合でも、安全の為固定される事をお奨めします。



修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は

まず、お買上げの販売店へ

お申し付けください。

■保証書

必ず、お買上げの販売店からお買上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買上げ日から1年

■修理を依頼される時

19 ページの表に従ってご確認の後、直らない場合は、電源プラグを抜いてお買上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

製造元 **株式会社 タムラテコ**